

<研究主題>

すすんで考え、学び合い、思考を深める児童の育成
～国語科の話す・聞く活動を中心として～

第1学年 国語科学習指導案

1 単元名

単元名「きいてしらせよう」【話す・聞く】

教材名「ともだちに、きいてみよう」

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- ・話す順序を考えながら話したり、大事なことを落とさずに聞いて感想や質問を伝えたりすることができる。
- ・友達に取材をして、紹介するために必要な事柄を集めることができる。

(2) 評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
① 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	① 「いつ」「どこで」「誰と」「何を」などを使って尋ね、大事なことを落とさないように聞いている。 ② 話す順序を考えながら話したり、話し手が伝えたいことの中心を捉えて感想や質問を伝えたりしている。	① インタビューをし合うことや、みんなに紹介することに関心をもち、これからの学習の見通しをもっている。 ② 聞き手に伝わりやすいように粘り強く発表の練習をしている。

3 単元について

(1) 児童の実態

① アンケートによる実態

学級で、国語に関するアンケートを行った。

<アンケート結果>

(36人回答)

		はい	はい どちらか という と	いいえ どちらか という と	いいえ
1	国語の学習は、好きですか？	30	4	2	0
2	班の友達に、自分の話をするのは、好きですか？	18	11	2	5
3	みんなの前で、発表することは好きですか？	21	5	5	5
4	友達と、話し合いながら学習することは、好きですか？	22	7	5	2
5	聞いている人が分かりやすいように、話していますか？	30	4	1	1
6	話している人を見て、うなずきながら聞いていますか？	22	6	3	5
7	話している人が、何を言いたいかを考えて、聞いていますか？	22	7	3	4

1「国語の学習は、好きですか」に対して9割以上の児童が肯定的に回答していることから、多くの児童が国語の学習に前向きに取り組んでいることが分かる。日常の国語の学習でも積極的に手を挙げて発表をしたり、俳句や平仮名を使った文をつくったりする姿が見られる。

一方、2「班の友達に自分の意見や考えを話すことは好きですか」3「みんなの前で、発表することは好きですか」に対しては全体の約2～3割に当たる児童が否定的に回答している。これまでに班やみんなの前で発表した経験がほとんどなく、発表することの成功体験があまりないことが一つの理由なのではないか、と考える。本時を含む学習の中で、手立てを講じながら丁寧に発表の仕方を指導することで自信を付け、発表をすることに対して前向きに考えられるようにしていきたい。

本単元では、発表会前の学習の中でどのような発表がよい発表なのか、どのようにすればよい発表ができるようになるのかをICTや掲示物を活用しながら具体的に指導することで、本時の発表会で自信をもって発表ができるようにして、成功体験に結び付けていきたい。

② 日常の実態

「話すこと」

平仮名の学習の時に「あ、が始めに付く言葉探し」等の簡単な問いに対しては、非常に多くの児童が積極的に手を挙げることから、自分の発言が合っているという自信があることに関しては積極的に発言しようとするのが分かる。一方、想像力を働かせる必要のある発問や、難易度の高い問いに対しては、手が挙がらなくなることが多い。学習の中で失敗をしても大丈夫だという雰囲気をつくり、どのように考えて発言をすればよいか等を、手本を見せながら丁寧に指導することで、難しい発問等にも進んで発言したり、みんなの前で発表をしたりできるようにしていきたい。

「聞くこと」

聞くことに関しては課題が多い。低学年特有の自己中心的発想からまだ抜け出すことができていない児童が多く、人の話を聞いている途中でも自分の話を始めてしまったり、話を集中して聞いていなかったりする児童が多い。本単元のように友達の話聞いてから感想を伝える活動は、話をしっかりと聞いていないと的確に感想や質問を伝えることができない。日常の活動から人の話を聞く姿勢について指導することはもちろん、学習の中で友達の意見に対して感想や質問を伝える活動を積極的に取り入れることで、聞くことの大切さに気付かせていきたい。

(2) 単元設定の理由

本単元では、「大事なことを落とさずに聞く」ことを重点に置いて指導していく。聞き手の「今、頑張っていることは何ですか」という質問に対し、話し手は「縄跳びをすること」と答えたとする。その場合、聞き手は話に沿って「どんな跳び方ができますか」や「何回跳べますか」等、話し手に興味をもって質問をしていく。このように話し手と聞き手が互いに興味、関心をもちながら大事なことを落とさずに話したり聞いたりすることができるようになることを目指す。本単元で学習したことを日常での会話やコミュニケーションに繋げていきたい。

(3) 教材文の分析

本単元の言語活動は「今、友達が頑張っていることを聞き、それをクラスみんなに紹介すること」である。聞き手の児童は、話し手が楽しいと思うことについていくつかの質問をすることで、頑張っていることの具体的な中身を聞き出す。質問の観点は「いつ」「どこで」「誰と」「どのくらい」「何をしている」「なぜ」のいわゆる5W1Hが基本となる。それを形式的に教えるのではなく、質問の仕方を考えさせたりロールプレイを基に体験的に理解したりすることで、どのように質問をすればよいかを理解し、定着できるようにしていく。

4 目指す児童像に迫るための手立て

【低学年分科会の目指す児童像】

伝えたいことを順序に気を付けて話したり、話の内容をとらえて聞き、感想をもったりして伝え合う子

_____(下線部)は「話す・聞く」の手立て

(1) 授業展開・形態の工夫

- ・単元のはじめに絵本「ぼくはなきました」を読み聞かせすることで、友達の頑張っていることを紹介することへの興味・関心を高める。
- ・教師がよい文例や発表の仕方を提示したりロールプレイを行ったりすることで、児童が文章の書き方や発表の仕方、感想や質問の伝え方を的確に理解できるようにする。
- ・インタビューカードを「いつ」「どこで」「だれと」「なにを」の項目に分けて、友達に質問することで、大事な内容を落とさずに聞き、詳しく発表ができるようにする。また、項目ごとに色分けをしたワークシートを活用することで、視覚的に分かりやすくする。

(2) 学習活動の工夫

- ・班での発表中は、話し手が教室の外側を向いて発表をすることで、他の班の話し手の声と混ざらないように配慮をする。
- ・聞き手が感想を言う時の文例を教室内に掲示することで、どのように言ったらよいかを明確にする。
例) ・何回くらいできますか。 ・なんで始めようと思ったんですか。
 ・私もやってみたいと思いました。 ・とてもすごいと思いました。

(3) ICT機器の活用

- ・話し手が発表する内容を聞き手が視覚的にも理解ができるように、発表に関する写真を事前に2枚から3枚撮影し、発表中に提示をする。
- ・児童が発表している様子をT2が撮影して投影することで、よかった点や改善点を視覚的に分かりやすく理解できるようにする。

5 単元の指導計画（全6時間）

時間	・各時間の目標	○主な学習活動	●指導上の留意点 ◇評価規準（評価方法）
1	<p>・インタビューをし合うことや、みんなに紹介することに関心を持ち、学習の見通しをもつことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（単元の）めあて ともだちに、いま、がんばっていることをきいて、みんなに しらせよう。</p> </div>	<p>○読み聞かせを通して友達のことを紹介することに対する関心をもつ。 ○学習課題を確かめ、学習の見通しをもつ。</p>	<p>◇インタビューをし合うことや、みんなに紹介することに関心を持ち、これからの学習の見通しをもっている。【主①】</p> <p>●単元の流れを教室に掲示し、見通しをもちやすいようにする。</p>
2・3	<p>・インタビューや紹介の仕方を理解し、友達にインタビューをしたり、紹介文をつくったりすることができる。</p>	<p>○友達へのインタビューの仕方を学ぶ。 ○友達に「今、一番頑張っていること」について尋ねて、インタビューカードに書き込む。 ○インタビューカードを基に発表原稿を書く。 ○発表を補足する写真を友達と一緒に2～3枚撮影する。</p>	<p>●教師がロールプレイを行い、インタビューの仕方を具体的に理解できるようにする。 ◇「いつ」「どこで」「誰と」「何を」などを使って尋ね、大事なことを落とさないように聞いている。【思・判・表①】 ◇言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。【知・技①】</p>
4	<p>・聞き手が聞きやすいような発表の練習をすることができる。</p>	<p>○話す速さや声の大きさ、目線を意識することを学ぶ。 ○発表原稿を基に発表の練習を行う。</p>	<p>◇聞き手に伝わりやすいように粘り強く発表の練習をしている。【主②】</p> <p>●次時で発表をし合わない友達とペアを組んで練習をすることで本番に近い状況で練習できるようにする。</p>
5 （本時）	<p>・班の友達に発表することを通して、話す順序に注意して話したり、大事なことを落とさずに、興味をもって聞いて感想や質問を伝えたりする練習をすることができる。</p>	<p>○班になって友達が今、頑張っていることを発表する。 ○聞き手は話し手の発表を聞いて感想や質問を伝える。 ○発表をしたり感想を伝えたりしたことを振り返る。</p>	<p>◇話す順序を考えながら話したり、話し手が伝えたいことの内容を捉えて感想や質問を伝えたりしている。【思・判・表②】</p>
6	<p>・話す順序に注意して話したり、大事なことを落とさずに、興味をもって聞いたりすることができる。</p>	<p>○クラスの友達の前で友達が今、頑張っていることを発表する。 ○聞き手は話し手の発表を聞いて感想や質問を伝える。 ○単元を通しての感想をまとめる。</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>●タブレットの写真を投影機で映し出すことでクラスの全員が写真を見られるようにする。</p>

6 本時の指導（5／6）

(1) ねらい

- ・ 班の友達に発表することを通して、話す順序に注意して話したり、大事なことを落とさずに聞いて感想や質問を伝えたりすることができる。

(2) 展開

過程	主な学習活動	●指導上の留意点	◇評価内容と方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のめあてを伝える。 		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>ともだちの、いま、がんばっていることをみんなに しょうかいするれんしゅうをしよう</p> </div>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の流れを知る。 ・ 話し手と聞き手が気を付けることを前時の学習を基に確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童が活動の流れが分かりやすいように教員がロールプレイを行う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班になって発表を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">発表の流れ</p> <p>話し手がタブレットで写真を見せながら発表をする。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>聞き手が友達の発表のよかったところや感想を伝える。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>話し手が入れ替わり発表し、聞き手が感想を伝える。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 発表中に話し手の声が聞こえないように、話し手は全員が教室の外側を向くようにする。 ● 1回目の発表後によかったことと修正した方が良いことの共有をして2回目に繋げる。その際はT2が発表の様子を撮影して投影し、具体的によい点などを伝える。 ● 発表内容が分かりやすくなるように、タブレットに関連する写真を写しながら発表できるようにする。 ● 聞き手が感想やよかったことを伝えやすいように、黒板や教室に例を掲示する。 ● 発表原稿をタブレットの裏に貼り、自信をもって発表できるようにする。目線はなるべく聞き手を見るように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 話す順序を考えながら話したり、話し手が伝えたいことを中心に捉えて感想や質問を伝えたりしている。【思考・判断・表現②】（発表・振り返り）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表を行って感じたことや自分ができたことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価表を基に、自己評価を行って次時への意欲へと繋げる。 	